

北見武道通信

ニュースレター【弓道情報】高校交流試合開催

連休中の5月4日(月・みどりの日)に、市内4校(柏陽・北斗・工業・商業)、美幌・札幌白石・帯広南商業、計7校 187名による『全道規模高等学校弓道練成交流試合』が北見市武道館弓道場にて行われました。この練習試合は次に紹介します大会へ向けた練習も兼ねており、細かな修正点を皆で指摘し合い、指導者の指導を熱心に受けていました。



【弓道情報】道新優勝旗弓道大会開催！！

5月9・10日(土・日)の2日間に渡り北海道新聞社優勝旗争奪全道弓道大会が開催されました。初日となりました9日は主に高校生の部となり、練習試合を行った生徒を始め全道各地から訪れた生徒が実力を出し切って挑んでいました。2日目の10日は、中学生の部・大学生の部・一般の部の順に競技が行われました。控え時点での和やかな表情から、射場に立つと一変して集中した緊張感のある面持ちで矢を放っていました。



連載 「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

二、指導上に心得べきこと

○修行の原則 4

次に細かく立ち入って、^{なげわざ}投技教授の^{じゆんじよ}順序に就いて述べよう。一體柔道の投技にはどれが基本で、どれが応用という区別はない。修行の形式からいえば、乱取が^{おうよう}應用という事も出来ないわけではないが、技それ自身としては基本^{きほん}應用の区別はないのである。それで基本から^{おうよう}應用という事に進むという順序は正確には立たない。というのが、技の成立が^{でき}そう順序立って出来たものでないと、^{かくわざ}投げ、絞め、抑えの各技に大体の共通はあってもその動作が各かく異なるという理由からである。ただ、基礎的の練習だけは順序立って出来る。例えば腰投げの中に^{しゆしゆ}浮腰・釣込腰・跳腰・大腰・腰車・釣腰・移腰など種々の腰技があるが、腰技に於ける腰の使用法をそれ等の技から^{かんたん}歸納して考えてその^{かんたん}歸納された原則に、最も近く且つ最も簡単なのを選んで、それを基本練習の資料とする。即ち^{うきごし}浮腰を基本技とするようなのが夫である。即ちこれを逆に云えば、^{せいかく}浮腰を正確に練習しておけば他の腰技も速やかに^{じようたつ}上達するというようなことになる。故に、指導者は、斯かる意味に於いて、各種の技の基本的なものに先ず練習の努力を集注せしめ、それが出来上がったら、その技に最も近い最も密接な関係にある技を選んで、一步一步^{どうてい}精確に修行の道程を進ましめる。— これらが一般的の原則なりと考えてよからう。

約言すれば、一般的に^{だいたい}大体の順序を考えると同時に、一個人についての^{じゆんじよ}順序が自ら存する譯であるから、その一般的原則としての順序、個人としての順序との調和を計り、その人の最も良き修行の行路を指示することが肝要である。